

1 本単元で目指す姿

要素の働きを生かした表現を工夫し、伝えたい体験に合った音楽をつくる子ども

具体的には、音や音楽について、要素とその働きに着目し、とらえたことと自己のイメージとを関連付けて考えるという「見方・考え方」を働かせ、どのように音を音楽にしていくかについて考える力を発揮して音楽をつくる子ども。

例えば、「私たちのグループは、『いかだづくりの場面』の音楽をつくりました。ペットボトルで同じリズムを反復して楽しさを表現しました。途中からガムテープの引っ張る音も重ねて、呼びかけとこたえで表現したら、ガムテープで頑丈になったいかだが完成した音楽をつくることができました」などと、伝えたい「いかだづくりや日本海での水遊びの体験」に合った音楽をつくる姿。

2 本単元で育成する資質・能力、そのために子どもが働かせる「見方・考え方」

		「見方・考え方」		
		○音や音楽について、要素（音色、リズム、強弱、反復、呼びかけとこたえ、変化）とその働きに着目し、とらえたことと自己のイメージとを関連付けて考えるという「見方・考え方」		
音楽科	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③態度	
	○音楽を形づくっている要素（音色、リズム、強弱、反復、呼びかけとこたえ、変化）について、音楽における働きとのかかわりに関する知識、声や体を使って出せる音の特徴 ○音楽づくりに関する技能 (声や様々な音の特徴の気付き、音やフレーズのつなげ方の特徴の気付き、即興的な表現、仕組みを用いた簡単な音楽表現)	○体の動きを伴いながら、声と身の回りの様々な音を使って出せる音で行う音遊びを通して、音楽づくりの発想を得る力 ○どのように声と身の回りの様々な音を使って出せる音を音楽にしていくかについて考える力 (学習の基盤となる「ツール活用能力」) ○記録動画を比較して、表現の工夫を考える力	○身近にある物（ペットボトル、ガムテープ、トーンチャイム）を使って、体を動かしながら楽しく音楽にかかわり、協働して音楽づくりをしようとする態度 (学習の基盤となる「協働性」) ○相談しながら協力して音楽づくりをする力	
		「見方・考え方」		
		○既存の知識や経験と気付いたこととを関係付けて考えるという「見方・考え方」		
生活科	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③態度	
	○日本海での水遊びの面白さや自然の不思議さに気付くこと	○身近にある材料（ペットボトル、ガムテープ）を利用した、いかだづくりを工夫する力 ○日本海での水遊びを工夫する力	○友達と楽しみながら遊びを創り出そうとする態度	

3 単元の計画

次	時	○学習活動	◆働き掛け	☆資質・能力	評価する対象
				・予想される子どもの反応	◎評価
生活科	1 ~ 4	○ ペットボトルとガムテープで、協力していかだをつくる。	◆ 「日本海へこぎだそう」のルールを説明し、協力していかだづくりをするために、気を付けることを問う。 ◆ いかだづくりの時間を設定する。	・日本海でいかだにのって楽しく遊びたいな。協力するために、いやなことは言わないようにしましょう。 ・しっかり海に浮くように、平らな面を広くつくろうよ。	
	5 ~ 8	○ 日本海へこぎ出し、友達と楽しみながら水遊びする。	◆ 水遊びのルールを説明し、安全に水遊びするために、気を付けることを問う。 ◆ 前半と後半のグループに分けて、水遊びの時間を設定する。	・あぶない行動はしないで、楽しく遊びたい。 ・海はすごくゆれるよ。波の音がずっと聞こえるよ。 ・二人でバランスを取りながらいかだにのろうよ。	
音楽科	9	○ 心に残った「日本海へこぎだそう」の活動を、ミュージックステーションで発表することを知り、グループで音楽づくり始める。	◆ 音楽をつくるために、条件を確認してから、グループで体を動かしながら行う音楽づくりの時間を設定する。	・「いかだづくりや日本海での水遊びの体験」を音楽で表現したい。 ・いかだづくりでペットボトルをいっぱい使ったよ。みんなでペットボトルで音を鳴らそうよ。	
音楽科 生活科	10	○ 音楽のモデルを比較聴取させ、要素とその働きによって、感じるイメージが違うことに気付く。	◆ 音楽のモデルA(リズムがそろっていない表現)と音楽のモデルB(リズムがそろっていて音楽の仕組みを使った表現)を提示し、感じたことを問う。【働き掛け1】	・モデルBは呼びかけとこたえで演奏していて、相談しながらいかだをつくっているみたい。 【学習のめあて】 リズムをそろえて、呼びかけやこたえなどを使いながら音楽をつくろう	
		○ 表現の工夫の見通しをもち、条件に合わせて、音楽づくりをする。	◆ 条件を整理してから、音楽づくりの時間を設定する。【働き掛け2】	☆生活科①②、音楽科②、協働性、ツール活用能力 ・生①②音②呼びかけとこたえでだんだんいかだが出来上がる様子を表現しようよ。 ・記録動画を見てみよう。もっと動きをそろえて演奏した方がいいね。	発言、動画、楽譜シート 生活①② 音楽②
	11	○ 自分と友達の作品を比較聴取し、新たな工夫の視点をもって音楽づくりをする。	◆ クイズ形式の中間発表会を設定し、気付いたことを問い、音楽づくりの時間を設定する。【働き掛け3】	☆音楽科①②③、生活科①②、協働性、ツール活用能力 音生①一人とみんなのトーンチャイム演奏が、波がこっちに行ってから返ってくる感じがしました。 音楽③呼びかけとこたえで協力してつくっている感じを表現してみたい。 音楽②最後の「やったー！」でペットボトルを鳴らして上に振り上げていたけど、立ち上がったらもっと盛り上がるんじゃないかな。 ・記録動画を見て演奏がそろっているか確かめよう。	発言、動画、楽譜シート 音楽①、生活① 音楽③ 音楽②
		○ 完成発表会で作品を発表する。	◆ 完成発表会を設定する。【働き掛け4】	☆音楽科①、生活科③ 作品「楽しい！いかだづくり」を発表する。	音楽①②、生活①③
12	○ 音楽作品の特徴を振り返り、音楽づくりで発揮した資質・能力を自覚する。	◆ 音楽作品の特徴を振り返りシートに記述させる。【働き掛け5】	私たちのグループは、『いかだづくりの場面』の音楽をつくりました。ペットボトルで同じリズムを反復して楽しさを表現しました。途中からガムテープの引っ張る音も重ねて、呼びかけとこたえで表現したら、ガムテープで頑丈になったいかだが完成した音楽をつくることができました。		
音楽科 生活科	13 ~ 15	○ ミュージックステーションで使う大きないかだをつくる。	◆ ステージで伝えるために、どんないかだをつくりたいかを問い、いかだづくりの時間を設定する。 ◆ ステージ発表の練習時間を設定する。	・生②ステージでもよく見える大きないかだをつくろう。つくった音楽もすごく盛り上がっているからね。 ・音①上手に発表するために練習しよう。	生②、音①
生活科	16	○ ミュージックステーションでステージ発表する。	◆ これまでの学習を思い出させ、どんな気持ちでステージに立つかを問う。	・生③音①③みんなの気持ちを一つにして、「日本海へこぎだそう」の楽しさを精一杯伝えよう。	生③、音①③